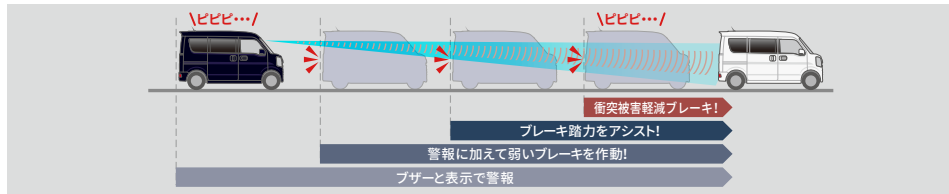


# 安心してドライブを楽しめる、先進の安全技術を搭載。<標準装備>

## デュアルカメラブレーキサポート(衝突被害軽減システム) 運転支援機能 ※1※2※3※4※5

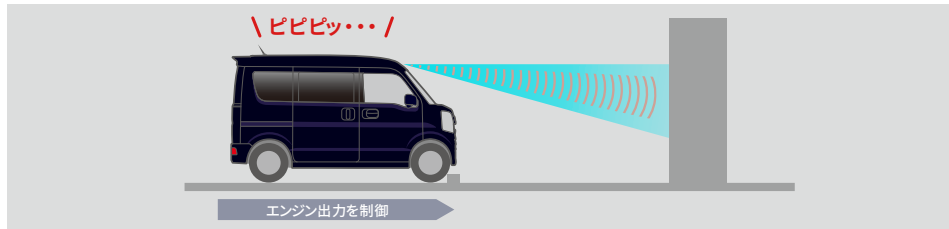
2つのカメラで前方の車両や歩行者を検知し、衝突のおそれがあると判断すると、ブザー音やメーター内の表示によってドライバーに警告。また、夜間の歩行者を検知することも可能です。ブレーキペダルを踏むと、ブレーキ踏力をアシスト。衝突の可能性が高まるとブレーキを制御し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

※衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行前にすべての乗員が適切にシートベルトを着用していることを確認してください。  
※衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により前進しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



## 誤発進抑制機能[前進時] 運転支援機能 ※1※2※3※4※6

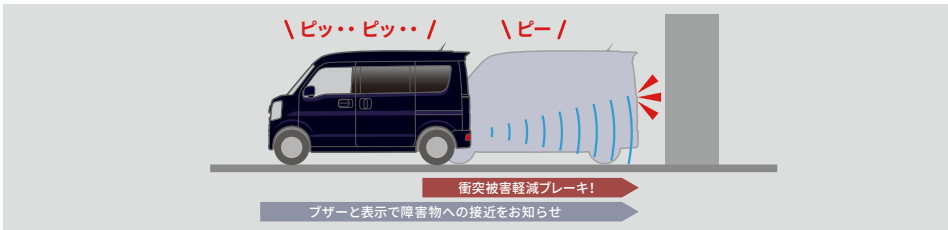
駐車場などで、前方に壁などがあるにも関わらずシフトをD・2・L(前進)の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、最長約5秒間、エンジン出力を制御。急発進・急加速を抑えて、踏みまちがいなどによる衝突回避に貢献します。\*ブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。



## 後退時ブレーキサポート 運転支援機能 ※1※2※3※4※7

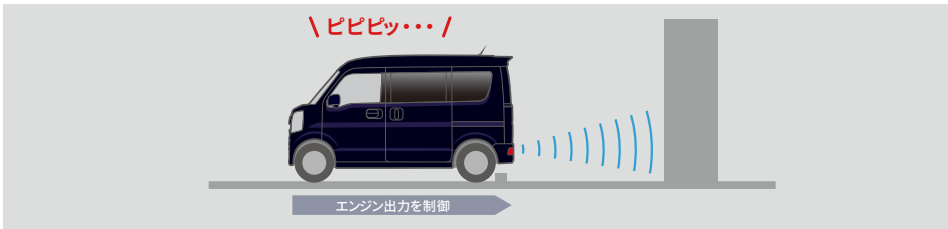
リアバンパーに内蔵した4つの超音波センサーで後方の障害物との距離を測り、4段階のブザー音で障害物への接近をお知らせする「リアパーキングセンサー」を搭載。さらに、後方の障害物との衝突の可能性が高まるとブレーキを制御し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

\*衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により後退しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



## 誤発進抑制機能[後退時] 運転支援機能 ※1※2※3※4※8

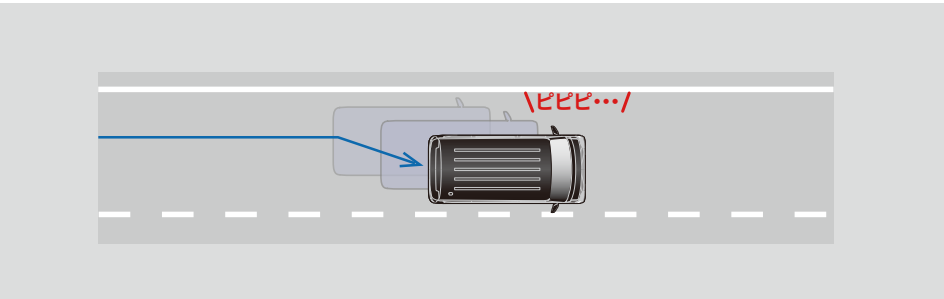
後方に障害物があるにも関わらずシフトをR(後退)の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を制御して急な後退を防止。シフトの入れまちがいなど、うっかり誤操作による衝突回避に貢献します。



※1 状況によっては正常に作動しない場合があります。※2 対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または、被害を軽減できない場合があります。※3 ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。※4 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。〈作動条件〉※5 自車速度約5km/h～約100km/hで走行中、前方の車両や歩行者を検知し、システムが衝突の可能性があると判断した場合。作動したときの速度が約5km/h～約50km/h(歩行者の場合は約5km/h～約30km/h)であれば、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみでブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に衝突被害軽減ブレーキが作動する場合があります。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

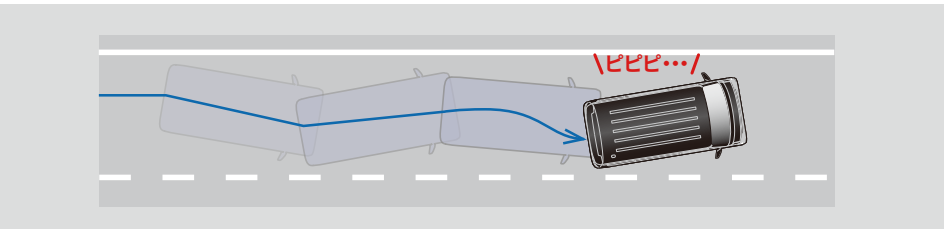
## 車線逸脱警報機能 ※1※4※9

走行中に左右の区画線を検知して進路を予測。前方不注意などで車線をはみ出しそうになると、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。




## ふらつき警報機能 ※1※4※10

走行中に左右の区画線を検知して、自車の走行パターンを計測。車両が蛇行するなど、システムが「ふらつき」と判断した場合、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。




※6 シフト位置がD・2・Lの位置で停車または徐行中(約10km/h以下)、前方約4m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。※7 約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知し、システムが「このままでは衝突が避けられない」と判断した場合。※8 停車または約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。※9 約60km/h～約100km/hで走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線をはみ出すと判断した場合。※10 約60km/h～約100km/hで走行中、車線の左右区画線を検知し、自車の走行パターンを計測。システムが「ふらつき」と判断した場合。※11 シフト位置がD・2・L・Nの位置でブレーキ操作をして停車中、先行車が発進して約4m以上離れた場合。※12 約30km/h以上で走行中、ライトスイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、ヘッドライトが点灯した状態でレバーを車の前方向に押し、ハイビーム位置にしているとき。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。



全車安全運転サポート車(サボカーS・ワイド)に該当

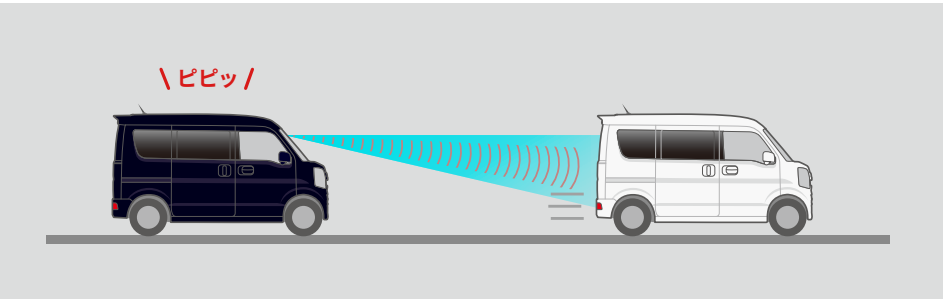
経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車(サボカーS・ワイド)」に該当しています。サボカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

※詳細についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧ください。



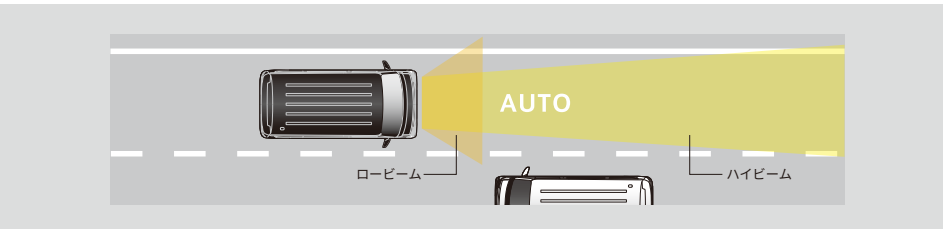
## 先行車発進お知らせ機能 ※1※4※11

停車中、前のクルマが発進して約4m以上離れても停車し続けた場合、ブザー音やメーター内の表示によって、ドライバーに先行車の発進をお知らせします。



## ハイビームアシスト機能 ※1※4※12

ヘッドランプをハイビームにして走行中、前方に対向車や先行車がいったり、明るい場所を走行すると自動でロービームに。対向車や先行車がいなくなったり、周囲が暗くなると自動でハイビームに戻ります。

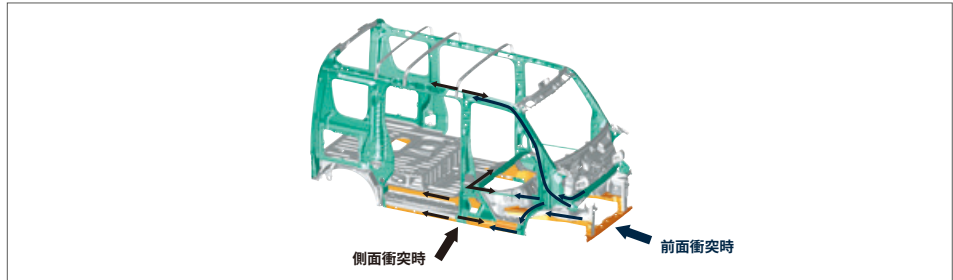


## 乗る人の安心を支える高水準の安全技術。＜標準装備＞

### 64km/hオフセット前面衝突に対応した軽量衝撃吸収ボディ

ボディ広範囲に高張力鋼板を使用して、強度を高めながら軽量化を実現。さらに、より強度の高い超高張力鋼板も採用し、安全性を追求しています。ボディ構造には、衝突時の衝撃を吸収するクラッシュブル構造や、衝撃を効果的に分散する骨格構造、さらに高強度なキャビン構造などを採用し、高い衝突安全性能を実現しています。

■軽量衝撃吸収ボディイメージ図



### SRS※<sup>1</sup>エアバッグシステム 運転席&助手席

※<sup>1</sup> SRS: Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

### シートベルト フロントシート プリテンショナー&可変ロードリミッター機構付ELR3点式×2

### 頭部衝撃軽減構造インテリア

ビラーやルーフサイドの内側に衝撃軽減構造を採用。万一の接触時に、乗員の頭部へのダメージを軽減します。

### リアシート ISOFIX※<sup>2</sup>対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ&トッパテザーアンカレッジ

お子様を安心して乗せられるよう、ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジに加え、チャイルドシート上端を固定するためのトッパテザーアンカレッジを標準装備しました。

※<sup>2</sup> 国際標準化機構 (ISO) が定めたチャイルドシート固定装置に関する規格。  
※ISOFIX対応チャイルドシートの本車両への適合性について、詳しくは車両付属の取扱書をお読みいただくか、営業スタッフにおたずねください。  
※チャイルドシートを取付ける際は、車両およびチャイルドシート付属の取扱書をお読みください。

### 歩行者傷害軽減ボディ

### エマージェンシーストップシグナル

約55km/h以上で走行中に急ブレーキを検知すると、ハザードランプが自動で高速点滅。後続車に急ブレーキを知らせ、注意を促します。

### ヒルホールドコントロール

坂道での発進時には、クルマが後ろに下がらないように、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる瞬間、一時的にブレーキが作動 (最長約2秒間)。落ち着いて発進ができます。

### ダイナミック・スタビリティ・コントロールシステム [横滑り防止機構] (DSC) &トラクション・コントロール・システム (TCS)

\*エンジントルク低減の度合いやブレーキをかける車輪とその強さは走行状況により変化します。DSC&TCSはあくまでも安定走行を補助する装置です。タイヤと路面間のグリップの限界を超えてスリップや横滑りを起こした場合はDSC&TCSが作動したとしても、その効果は期待できません。

### 4輪アンチロック・ブレーキ・システム (4W-ABS) &電子制御制動力配分システム (EBD)、ブレーキアシスト

滑りやすい路面での急ブレーキ時には、4W-ABSが作動。タイヤのロックを防ぎ、車体を安定させて、ハンドル操作で障害物を回避できるようにサポートします。さらに、ブレーキ踏力を補助するブレーキアシストや最適な制動力を前後に自動配分するEBDを装備しています。

\*4W-ABS&EBDはあくまでもドライバーのブレーキ操作を補助するシステムです。4W-ABS&EBD非装着車と同様に、コーナ等の手前では十分な減速が必要です。安全運転を心がけてください。

### イモビライザー (国土交通省認可品)

エンジン始動時にアドバンストキーが発信するIDコードと車体側のIDコードを電子認証。IDコードが一致しないと、エンジンがかからないので車両盗難の抑制に効果を発揮します。

### セキュリティアラームシステム

システム作動中に、リクエストスイッチまたはキーレスエントリー以外の操作で解錠しドアを開くと、ハザードランプとホーンなどで警告します。

\*車両には盗難警報装着車ステッカーが貼付されています。  
\*セキュリティアラームシステムは、作動しない状態に設定することができます。詳しくは営業スタッフにおたずねください。

■盗難警報装着車ステッカー



## パワフルなターボエンジンを全車に採用。




### パワフルで安定した走りを実現するテクノロジー

吸気側にVVT機構を採用。高過給圧化したターボチャージャーを搭載し、パワフルな走りと燃費性能に貢献しています。

【最高出力】47kW(64PS)/6,000rpm	【最大トルク】95N・m(9.7kgf・m)/3,000rpm
---------------------------	---------------------------------

\*〈 〉内は、旧単位での参考値です。

WLTC  燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3※4	
2WD	4WD
13.3 km/L 市街地モード: 11.6 km/L <sup>※4</sup> 郊外モード: 14.0 km/L <sup>※4</sup> 高速道路モード: 13.7 km/L <sup>※4</sup>	13.3 km/L 市街地モード: 11.5 km/L <sup>※4</sup> 郊外モード: 13.9 km/L <sup>※4</sup> 高速道路モード: 13.8 km/L <sup>※4</sup>

※<sup>3</sup> 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用時等) に応じて燃料消費率は異なります。

※<sup>4</sup> WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

### 効率よくエンジンを止めて、ガソリンを節約するアイドリングストップシステム

走行中にブレーキペダルを踏みこんで停車すると、自動でエンジンを停止。無駄なガソリン消費を抑えて燃費向上に貢献します。ブレーキペダルを離せばエンジンが再始動し、スムーズに走り出します。

\*アイドリングストップの作動には一定の条件を満たす必要があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 狭い路地、縦列駐車もスムーズな小回りの良さ

直進安定性に優れたロングホイールベースながら、最小回転半径は4.5m。狭い道への進入や車庫入れ、縦列駐車などもスムーズに行えます。